

# 10~11月りんご生産情報

晩生種の熟度は概ね平年並みに推移しております。例年11月中旬以降は降雪が予想されるため、収穫作業は計画的に進めましょう！また、収穫したりんごは野積みせず、速やかに入庫しましょう！

## ☆晩生種熟度調査結果

熟度は概ね平年並みに推移しております。収穫遅れにならないよう作業は計画的に進めましょう！

### ○王林

10月5日調査

年度	横径 (mm)	硬度 (p)	糖度 (%)	ヨード反応	食味	酸度
本年	86.0	16.6	12.5	3.7	1.5	0.407
前年	86.3	16.4	11.1	3.5	1.9	0.406
平年	85.7	16.5	11.7	3.8	2.1	0.376
収穫時の標準指標		14~16	13以上	2~3	3.5以上	—



園地によりビターピットが散見されます。早すぎる収穫は貯蔵中の発生を助長させますので、適期収穫に努めましょう！

### ○サンふじ

年度	横径 (mm)	硬度 (p)	糖度 (%)	ヨード反応	食味	酸度
本年	85.3	17.4	12.7	3.3	1.2	0.433
前年	89.1	16.4	10.8	3.0	1.5	0.436
平年	86.3	17.1	11.8	3.5	1.8	0.478
収穫時の標準指標		13~16	13.5以上	2以下	4以上	—



ふじは平均気温が10℃を下回ると着色が進みにくくなるので、着色管理は10月25日頃を目安に終わらせるようにしましょう。また、サンふじ・葉とらずふじは食味が重視されるため、しっかり味をのせてから収穫しましょう。

## ☆収穫時の疫病対策

果実に泥が付着しないよう、手かご・コンテナ・パレットは直接地面に置かないようにしましょう。また、降雨時に収穫する場合は泥水が跳ねないように注意しましょう。

品 種	入庫受付期間
有袋ふじ・サンふじ・ぐんま名月	10月20日~
王林	10月23日~
葉とらずふじ・金星	11月1日~



## ☆野ねずみ対策 『野ねずみ対策の基本は園地内の密度を低下させることです。』

- ねずみは暗いところを好んで巣を作りますので、草刈りを行いましょう。
- 落ち実や野菜のくすなどはねずみの餌となりますので、片づけを行いましょう。
- 苗木から若木・わい性台樹は地上から1mくらいの高さまでプロテクターなどの被覆資材を巻き付けましょう。

☆忌避剤・殺そ剤による防除（ねずみの多いところでは秋や春に限らず、継続的に捕殺や殺そ剤を行いましょう。）

種類	剤型	商品名	使用量	方 法
忌避剤	液剤	アンレス水和剤	10倍液	根雪前に樹幹部へ散布する。
殺そ剤	毒餌	メリーネコ1号	5~10粒/穴	ねずみの穴に投入する。 Z・Pバラはバラまき及び穴投入、定点配置のいずれか。 穀粉など4gに本剤1gをまぜて、ねずみの穴に投入する。
		Z・P(小袋)	小袋1つ/1穴	
		粉末ラテミン	250~750g/10a	
トラップ	箱	ラットトラップ	5台/10a	専用の餌をトラップの中に置き、設置する。

## ☆根雪前の雪害対策

- 苗木・幼木は主幹や枝をひもなどで結束を行いましょう。
- 普通台木は雪害を受けそうな枝に支柱入れ又は不要な枝を大枝単位で剪去しましょう。剪去した場合切り口の凍害を防ぐため、基部を30cmくらい残し、翌春に切りましょう。
- わい性台木は枝の中央部からやや先を枝先が上向きになる程度まで吊り上げましょう。
- 大雪に備えて、雪が積もる前に園地へ融雪剤の搬入を行いましょう。

収穫作業最盛期となります。体調管理を万全に行い、事故やケガには十分注意しましょう！！